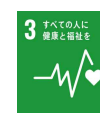


目指す姿

生活習慣病のリスクがある人を明らかにし、発症・重症化を防ぐ



KPI	基準値	目標値(R9)
【第2階層】脳血管疾患の年齢調整死亡率（10万人あたり）	(R3) 男性105.59 女性55.26 （全国：男性93.74 女性55.11）	全国平均値以下
【第2階層】虚血性心疾患の年齢調整死亡率（10万人あたり）	(R3) 男性82.45 女性29.56 （全国：男性72.76 女性29.58）	全国平均値以下
【第1階層】特定健診の実施率	53.7% (R3)	70%以上
【第1階層】特定保健指導の実施率	24.4% (R3)	45%以上

現状と課題

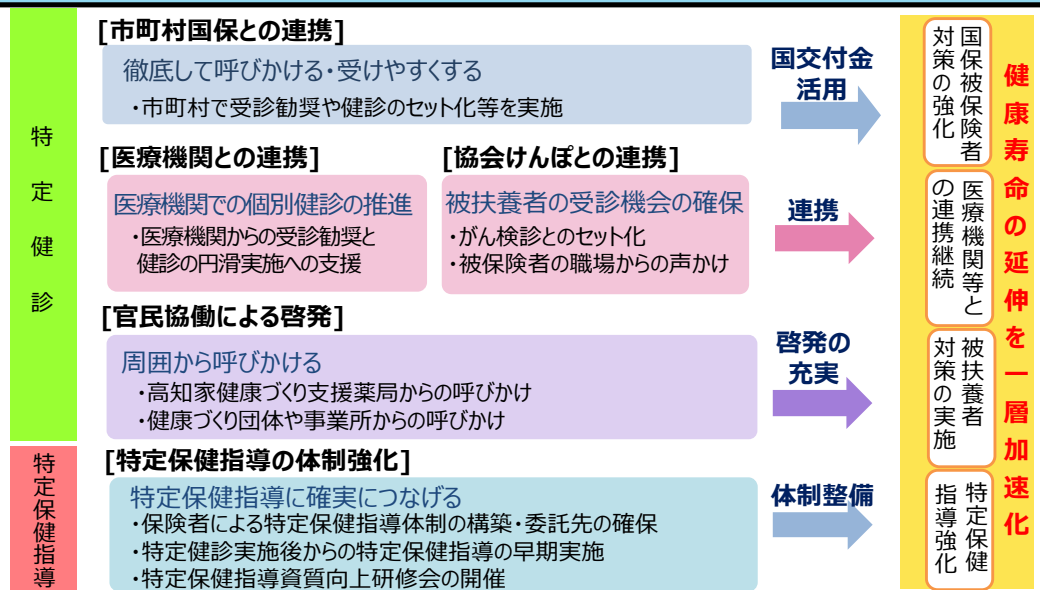
特定健診

- ・実施率は上昇傾向であるが、全国平均には達していない。実施率向上のためには、集団健診の実施率を維持させつつ、個別健診の受診者数を増やすことが必要
- ・市町村国保の年齢別実施率では40歳から50歳代前半が低いことから、各市町村で取り組む受診勧奨の充実・強化が必要
- ・協会けんぽの被保険者の実施率は高いが、被扶養者の実施率は低いため、実施率向上に向けた取り組み支援が必要

特定保健指導

- ・市町村など保険者の保健指導従事者のマンパワー不足を踏まえた効率的な指導体制の整備が必要
- ・県全体の実施率はわずかな上昇にとどまっているため、特定保健指導の利用勧奨の徹底が必要
- ・対象者の行動変容を促す効果的な保健指導を実施できるよう人材育成が必要

第5期構想（R6～R9）で目指す姿（イメージ）



令和6年度取り組み

特定健診

- （1）国保被保険者対策の強化
 - ・テレビCMやインターネットなどを活用した効果的な受診勧奨の実施
 - 新**・個別健診の実施率向上に向けたモデル事業の実施
 - 新**・みなし健診活用促進に向けた勧奨事業の実施

- （2）医療機関等との連携継続
 - ・協会けんぽ被扶養者への受診促進（市町村との連携及びがん検診とのセット化促進）

- （3）壮年期・被扶養者対策及び啓発の充実
 - ・保険者・高知家健康づくり支援薬局を通じた啓発

特定保健指導

- （4）特定保健指導の強化
 - ・ICTや民間事業者の活用など、効率的な特定保健指導体制整備への支援
 - ・早期初回面談実施の促進
 - ・さらなる効果的な指導に向けた研修会の開催